

広報誌Niji

にじ

2025 Summer
Vol. 76

発行／公益財団法人 慈愛会 いづろ今村病院 広報委員会 季刊

FREE

ご自由にお持ち帰りください。

みなさまと
いづろ今村病院を
つなぐかけ橋



p1 **特集** 在宅支援センター開設

p5 教えて! 先生 ▶ 食中毒について

p8 慈愛会クリニック

p3 診療科紹介 ▶ 総合診療科

p7 部署紹介 ▶ 総合外来

p9 ニュース&トピックス 診療プログラム

在宅支援センター開設

2025年4月1日に『在宅支援センター』が開設されました。

医師、看護師、ソーシャルワーカー、臨床心理士、理学療法士、ケアマネジャーなどの多職種が連携し、医療・福祉・介護に関する相談から入退院支援、必要な方に訪問診療等、幅広いサービス提供を行います。地域住民の皆様の医療から介護、在宅療養に関する不安やご相談にスムーズに対応できるように努めて参ります。来院される皆様が相談したい、相談して良かったと思ってくれるように細やかな連携を在宅支援センターで実践していきたいと考えています。どうぞお気軽にお越しください。



問い合わせ先

- ◆ 地域連携室、医療福祉相談室
電話：099-226-2180 (直通)
FAX：099-226-2181 (直通)
- ◆ 指定訪問リハビリテーション ウェルネスじあい
電話：080-4112-0864 (直通)
FAX：099-226-5208 (直通)
- ◆ 指定居宅介護支援事業所 ウェルネスじあい
電話：099-226-5207 (直通)
FAX：099-226-5208 (直通)

訪問リハビリテーション

「訪問リハビリテーション」では、当院を退院した患者様はもちろん、地域にお住まいの方々が、ご自分の家で、自分らしく暮らすための支援を、リハビリテーションの立場から提供しています。



具体的には、理学療法士・言語聴覚士等のリハビリテーション専門職が、患者様の健康状態を把握した上で、心身機能および環境を評価し、身体的リハビリテーションはもちろん、認知機能面へのリハビリテーション、住宅改修や福祉用具等の環境面への助言、介護者の介護負担軽減を目的とした助言など、様々な支援を提供しています。

居宅介護支援事業所ウェルネスじあい

今年度より、ケアマネジャー（介護支援専門員）が3人に増えました。

ケアマネジャーは、介護を必要とする方が介護保険サービスを受けられるようにケアプラン（サービス計画書）を作成し、定期的に自宅に訪問して生活状況等を確認し必要なサービス調整等を行います。在宅支援センターの一角に事業所が移ったことで、タイムリーに多職種で情報共有できるようになり一緒に業務を進めております。総合受付のインフォメーションモニターにも、紹介してありますのでご覧ください。



診療科紹介

総合診療科

一般内科診療に加え、
どの診療科を受診したらよいか
分からない患者さんに対応します。

担当医紹介

総合診療科

久保 忠弘

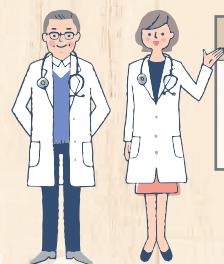
総合診療科部長
医学博士
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会循環器専門医
アメリカ内科学会上級会員

橋口 正隆

総合診療科部長

牧野 虎彦 (非常勤)

総合診療科部長



久保医師

橋口医師

牧野医師

担当医表

●午前

月	火	水	木	金	土
久保	橋口	牧野	久保	橋口	田川

●午後

月	火	水	木	金	土
橋口	久保	牧野 久保 (第4週)	橋口	久保	—

総合診療科紹介

当院総合診療科は2025年4月から2人の常勤医師と2人の非常勤医師で外来を担当しています。

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの発熱患者さんへの対応と高血圧、糖尿病、脂質異常症、鉄欠乏性貧血、気管支喘息、呼吸器疾患や尿路感染症などの一般内科診療をしています。他には胸腹部痛、全身倦怠感、体重減少など、どの診療科を受診したら良いかわからない患者さんの診療を行い、専門的な診療が必要な場合には、該当診療科やほかの医療機関に紹介します。また今年度から訪問診療も開始しました。

病棟では肺炎や尿路感染症の患者さんの入院を担当し、地域包括ケア病棟では急性期病院と連携し、急性期治療後の「在宅復帰への支援」に向けた治療、リハビリテーション、介護支援調整などを行っています。また在宅で介護を受けている方が、介護者の入院や休息のために短期間入院する「レスパイト入院」も受け入れています。



トピック

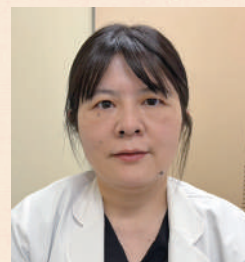
带状疱疹ワクチンについて

今年4月から带状疱疹ワクチンが定期予防接種になり、各自治体からの一部公費助成が行われています。带状疱疹は幼い時に水痘（水ぼうそう）に罹患した後にウイルスが残り、加齢や免疫低下に伴ってウイルスが再活動する疾患です。症状でよく見られるのは、体の左右どちらかの神経に沿って広がる痛みと水疱を伴う発疹です。都市伝説では発疹が体を1周すると命にかかわると言われていますが、実際にそのようなことはありません。ただ、治療が遅れると後で「带状疱疹後神経痛」と言われる強い痛みが出現し、日常生活に支障をきたすこともあります。鎮痛剤で効果がない時はペインクリニックで加療する患者さんもいます。ワクチンには带状疱疹の発症だけでなく、その後の神経痛も予防する効果があります。

なお、ワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンの2種類があり、生ワクチンは1回接種、不活化ワクチンは2ヶ月間隔の2回接種となります。ワクチンの選択に関してはかかりつけの医療機関と相談してください。



食中毒についてー



消化器内科
生駒 今日子

原因、症状、予防のポイント

食中毒とは、細菌、ウイルス、寄生虫、化学物質、自然毒などが飲食物を通じて体に入り、健康被害を引き起こすものです。日本では気温と湿度の高い夏場(6～9月)や、ノロウイルスが流行する冬場(11～2月)に多く見られます。

鹿児島のように比較的温暖な地域では、1年を通して注意が必要です。

原因と種類

食中毒の原因はさまざま、大きく以下のように分類されます。

- ◆ **細菌性食中毒**：カンピロバクター(加熱不十分な鶏肉)、サルモネラ(卵や肉)、黄色ブドウ球菌、ウェルシュ菌(加熱後の保存状態により繁殖)、セレウス菌(常温で置かれた米飯など)など。
- ◆ **ウイルス性食中毒**：ノロウイルスやロタウイルスが代表的で、感染者の便や嘔吐物、または汚染された二枚貝などを介して感染します。
- ◆ **寄生虫による食中毒**：アニサキス(魚介類による)やジアルジアなど。
- ◆ **化学性・自然毒による食中毒**：農薬の誤使用、フグ毒、毒キノコなど。

鹿児島では、生の鶏肉や鮮魚を使った料理が家庭や飲食店で親しまれています。新鮮な地元食材を生や半生で提供する文化があり、特に十分な衛生管理と加熱の判断が必要です。

症状と対応

食中毒の症状には、腹痛、下痢、嘔吐、発熱などがあります。原因によっては、発症までの時間(潜伏期間)や症状の持続時間が異なります。たとえば、カンピロバクターでは2～5日後に症状が出る一方で、ノロウイルスは1～2日で嘔吐や下痢が始まることが多いです。多くは数日で自然に軽快しますが、脱水には注意が必要です。



治療は基本的に対症療法が中心です。下痢を無理に止めず、水分や電解質の補給が重要です。特に高齢者や乳幼児、持病のある方は、早めに医療機関を受診しましょう。細菌によっては抗菌薬が必要になる場合もありますが、ウイルスには効果がありません。

予防のポイント

食中毒予防の三原則は、「つけない」「増やさない」「やっつける」です。

つけない：手洗いや調理器具の洗浄を徹底しましょう。生肉や魚介類に触れた後は、まな板や包丁、手指の消毒も忘れずに。

増やさない：調理後の食品は常温で放置せず、すぐに冷蔵庫で保管しましょう。特に夏場は菌が急速に増殖します。

やっつける：肉や魚は中心温度75℃以上で1分以上加熱することが目安です。

ノロウイルス対策では、アルコールよりも塩素系消毒(次亜塩素酸ナトリウム)が効果的です。



おわりに

地元の新鮮な食材や郷土料理は、私たちの食生活に彩りを与えてくれます。ただし、生食や調理法によっては食中毒のリスクが伴います。食材の扱いや保存、調理の基本を守ること、こうしたリスクを大きく減らすことができます。日常のちょっとした心がけで、安全でおいしい食卓を守っていきましょう。



部署紹介 総合外来

外来診療については最終ページの診療プログラムをご参照ください。発熱外来も行っております。

業務の内容

当院の特徴として、外来化学療法室での専門治療、輸血療法、緩和面談、外来インスリン導入、専門スタッフによる教育支援などを行っています。

病院を訪れる患者様は何かしらの不安を抱えて来院されています。看護師はそのような不安を少しでも軽減できるよう患者様の思いに耳を傾けるようにしています。また、医師や関連職種に困り事の橋渡しを行い、チームで対応できるようにしています。

入院となった場合は、病棟と情報を共有し、退院後も安心して通院または在宅治療が継続できるようサポートしています。

部署内での取り組み

循環器内科、緩和ケア内科、総合診療科では、訪問診療を行っています。地域の多職種と連携しながら、在宅で療養される患者様が安心して生活できるようお手伝いします。また、患者様のそばで寄り添い介護されているご家族のサポートにも努めております。

通院生活や在宅療養を支えているご家族も、何かしらお困りのことがあれば、一人で悩まず、いつでもお気軽にお声かけください。

患者様が治療と社会生活との折り合いをつけながら、その人らしく生活できるよう、スタッフ一同、一丸となってサポートいたします。

慈愛会クリニック vol.34

慈愛会クリニックは、糖尿病外来専門クリニックです。今回は、患者様やそのご家族から投稿いただいた「第8回 糖尿病川柳」の入選作品の一部を紹介いたします。

第8回 ～こころを詠んで～ 糖尿病川柳 入選作品発表

川柳募集期間 令和7年1月15日～3月8日

今年 は へび年 細長い体が夢 ブルちゃん(ご家族)様 男性	物価高 節約できぬ くすり代 稀勢の街様 男性	啓蟄に 心安まり おやつ食べたし ME&MY様 女性	霧島の 温泉めぐり 夢見が丘 MY真ちゃん様 男性	物価高 血糖値上昇 いやな日々 トコちゃん様 女性	バイキング すべて食べたい 高血糖怖い うっちー様 男性	越年の流感 七草粥で のり超える 練りアンコ職人様 女性	糖低下 幸先参りで 神祈る マロン様 男性
-----------------------------------	----------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--------------------------

慈愛会クリニック診療スケジュール

	月	火	水	木	金	土
午前	今村尚子	今村尚子 伊集院綾子	今村尚子 末永 悠	今村尚子 久保田敬子	今村尚子 上野尚子	池田優子
午後	今村尚子	今村尚子	今村尚子	休診	今村尚子	休診

- 診療時間：午前 8:30～12:30 (9月から木・土曜は8:15～12:15)・午後 2:00～5:00
- 休 診 日：日曜日・祝日 (木・土曜の午後)
- 診療科目：糖尿病内科・内科 初診の方もご予約ください。
〒892-0822 鹿児島市泉町1-15 ☎ (099) 239-0588 (ご予約優先)

選考委員長 慈愛会クリニック
院長 今村 尚子より

ご応募ありがとうございました。
糖尿病は、日常生活が深く関わる病です。普段の患者様の気持ちがよくでていると思いました。



※平成19年「女性にやさしい医療機関」の指定をうけました

いづろ今村病院看護部に感謝状

2025年6月8日、第104回公益社団法人鹿児島県放射線技師会定時総会・春季学術大会内で、鹿児島県診療放射線技師会大迫俊一会長より、いづろ今村病院看護師を代表して上原奈津美看護部長に感謝状が授与されました。研修への講師派遣に対する感謝状です。

診療放射線技師の業務拡大のひとつに造影剤投与目的の静脈路確保があり、静脈路確保を行うためには日本放射線技師会主催の告示研修の受講が必須となっています。いづろ今村病院看護部は、これまで鹿児島県内で行われた11回全ての告示研修に、講師として看護師を派遣しています。安全に静脈路確保ができるよう、研修講師として尽力してきたことを称えられ、感謝状が授与されました。



第5回慈愛会学会学術集会

いづろ今村病院をはじめ、公益財団法人慈愛会 各病院施設の職員が一堂に会し研究成果や業務改善の取り組みなど発表する「慈愛会学会」の第5回学術集会が2025年7月26日(土)、鹿児島県市町村自治会館で開催されました。今回のテーマは「Jiaikai Transformation」。当院の長野真二郎院長が大会長を務め、67演題(口演24題、ポスター43題)の発表がありました。多職種の職員たちが専門性を発揮し、調査・研究や臨地経験を共有する貴重な機会となりました。

医療DXに関する特別セッションでは、外部講師による講演に続き、病院現場におけるDX推進の現状や問題点について報告があり、今後法人を挙げてDXを推し進めていく機運を高めました。



いづろ健康・介護まつり 開催

日時：2025年11月22日土曜日 14:00～16:00

場所：いづろ今村病院

内容：市民公開講座、血圧・血糖・骨密度測定、

ストレスチェック 健康相談、
おくすり相談、栄養相談など

詳細は、近日中にホームページ
や院内ポスターでお伝えします。



編集後記

今回特集した在宅支援センターは、高齢化が進む中で「住み慣れた地域で安心して暮らしたい」という願いに応える拠点として、新たな一歩を踏み出しました。「相談して良かったと思ってくださるように」と記事の中にある通り、在宅医療・在宅介護にまつわるさまざまな不安を取り除く、在宅支援のプロ集団です。在宅支援の重要性が増す昨今。本誌が皆さまと当院の在宅支援を結びきっかけとなり、未来への安心につながる「にじの架け橋」となりましたら幸いです。

慈愛会本部 瀬涯

病院運営方針

1. 医療理念「心と心をつなぐ医療」
2. 基本方針
 - 1) プロフェッショナル《達人》～医療の達人を目指します
 - 2) ハートフル《慈愛》・ハーモニー《調和》・ハビネス《幸福》～慈愛の心で地域と共に人々の幸福を追求します
3. 経営理念「安心できる病院、安定した病院を目指します」

患者様の権利宣言

慈愛会 いづろ今村病院は、患者様の立場にたった最良の医療を提供することを目指し、患者様が安全な医療を公平に受けることが出来る為に、患者様の基本的な権利「患者の権利宣言」(リスボン宣言)を尊重し、以下に関して誠心誠意、努力します。

1. 個人の尊厳の権利
2. 良質な医療を受ける権利
3. 診療に関して説明と情報を受ける権利
4. セカンドオピニオンを求める権利
5. 自己決定の権利
6. 知る権利
7. 秘密保持に関する権利

いづろ今村病院は「かかりつけ医」として以下の取り組みを行っています。

- 健康相談の結果に関する相談、健康管理に関する相談に応じます。
- 必要に応じ、専門の医師・医療機関をご紹介します。
- 保健・福祉サービスに関するご相談に応じます。
- 夜間・休日の問い合わせへの対応を行っています。

かかりつけ医機能を有する地域の医療機関の検索ができます▶

★医療情報ネット(ナビイ)



医療福祉相談室 TEL.099-226-2180(直通)

平日 8:30～17:30 土曜日 8:30～12:30

当院では患者様やご家族のお力になれるよう医療福祉相談室を設けています。医療ソーシャルワーカー(MSW)や看護師がご相談をお受けしています。どうぞお気軽にご利用ください。

看護職員募集

いづろ今村病院・今村総合病院
谷山病院・奄美病院・徳之島病院・愛と結の街

安心して仕事に取り組める慈愛会で
看護の専門性を磨きませんか？

病院見学・入職ご希望の方
慈愛会看護部支援室へご連絡ください
お問い合わせ/TEL.099-230-0063(直通)



人間ドック専用 ご予約・お問い合わせ電話

月～金/10:00～17:00
土曜日/ 9:00～12:00

※日曜・祝日は除く

TEL.099-226-5066



受付時間と面会時間

受付時間 平日(月～金) 8:30～12:00 14:00～17:00
土曜日 8:30～12:00
※詳細は裏面の診療プログラムをご覧ください。

面会時間 ※新型コロナウイルス感染防止のため、面会の制限を行っております。
最新の情報はホームページでご確認ください。

かかりつけ患者様 夜間救急サービスのご案内

当院は、患者様への医療サービスの一環として、夜間も電話による診療窓口を開設しております。

かかりつけ救急 **099-226-2600**

当院かかりつけ患者様の健康を24時間お守りすることが、私たちの使命と考えております。

公益財団法人 慈愛会 グループ

- ◆ いづろ今村病院 鹿児島市堀江町17-1
- ◆ 今村総合病院 鹿児島市鴨池新町11-23
- ◆ 谷山病院 鹿児島市小原町8-1
- ◆ 奄美病院 奄美市名瀬浜里町170
- ◆ 徳之島病院 大島郡徳之島町電津5190
- ◆ 高麗町クリニック 鹿児島市高麗町39-11 慈愛の郷1F
- ◆ 慈愛会クリニック 鹿児島市泉町1-15-1F
- ◆ 七波クリニック 鹿児島市真砂本町51番1号ニコムテナント
- ◆ かごしまオハナクリニック 鹿児島市鴨池新町6-4-2F
- ◆ 慈愛会垂水サテライトクリニック 垂水市本町77
- ◆ 介護老人保健施設 愛と結の街 鹿児島市小原町8-3
- ◆ 世賀訪問看護ステーション愛の街 鹿児島市小原町9-1
- ◆ 鹿児島中央看護専門学校 鹿児島市泉町12-7

外来再診の患者様へお知らせ ★当院は、「**予約外来制**」です。診察・検査は再診の方でも、事前予約が必要です（前日まで）。

1. 来院時、主治医・看護師への直接予約ができます。
2. 電話で予約▶TEL:099-226-2600(代表)
時間/月～金14:00～17:00 土曜日8:30～12:00(日・祝日を除く)

※原則として、当日の予約はお受けできませんが、お具合が悪く、
受診を希望される場合はご相談のうえ、来院ください。
受付時間/8:30～17:00
※診療日は予告無く変更になる場合がございます。
お電話にてご確認ください。

診療プログラム【外来診療担当医と専門外来】 令和7年8月1日現在

診療科			月	火	水	木	金	土
総合診療	一般	午前	久保 忠弘	橋口 正隆	牧野 虎彦	久保 忠弘	橋口 正隆	田川 理笑
		午後	橋口 正隆	久保 忠弘	牧野 虎彦 久保 忠弘(第4週)	橋口 正隆	久保 忠弘	—
内科	血液	午前	松元 正	高塚 祥芝	高塚 祥芝	竹内 昇吾	竹内 昇吾	有村 光生 高塚 祥芝 竹内 昇吾
		午後	—	高塚 祥芝	—	竹内 昇吾	竹内 昇吾	—
	消化器内科	午前	生駒 今日子	時任 大吾	時任 大吾	時任 大吾	生駒 今日子	時任 大吾
		午後	生駒 今日子	時任 大吾	時任 大吾	時任 大吾 生駒 今日子	生駒 今日子	—
	I B D	午前	—	大井 秀久	大井 秀久	—	大井 秀久	大井 秀久
		午後	大井 秀久	大井 秀久	大井 秀久	—	大井 秀久	—
	循環器	午前	山下 誠	山下 誠	長野 真二郎	木佐貫 彰	木佐貫 彰	木佐貫 彰(第1・3・5週) 長野 真二郎(第2週) 山下 誠(第4週)
		午後	木佐貫 彰	長野 真二郎	木佐貫 彰	山下 誠	山下 誠	—
	リンパ浮腫外来	午前	—	—	—	長野 真二郎(第2週)	—	—
		午後	—	—	—	長野 真二郎(第3・4週)	—	—
	緩和ケア内科	午後	松下 格司	松下 格司	松下 格司(第2・4・5週)	松下 格司	松下 格司	—
外科	消化器外科	午前	中島 三郎	—	大久保 智佐嘉	瀧川 譲治	瀧川 譲治	—
婦人科	—	午前	比良 高明	森 明人	比良 高明	比良 高明	比良 高明	森 明人(健診)
		午後	比良 高明	森 明人	比良 高明	比良 高明	比良 高明	—
皮膚科	—	午前	川上 延代	—	川上 延代	川上 延代	川上 延代	—
		午後	川上 延代	—	川上 延代	川上 延代	川上 延代	—
糖尿病内科	—	午前	鎌田 哲郎 上久保 定一郎	鎌田 哲郎 田川 理笑	鎌田 哲郎 上久保 定一郎 新中須 敦(第3週)	田川 理笑 新中須 敦	松下 敬亮 大重 聡彦	新中須 敦
内分泌代謝内科	—	午前	—	新中須 敦	—	—	—	—
眼科	—	午前	水島 崇 水島 由佳	水島 崇 藤原 悠子 水島 由佳	水島 崇 藤原 悠子 土居 範仁(隔週)	藤原 悠子 土居 範仁(第2週)	鹿大医師	第1週 当番医師 第2週 当番医師 第3週 鹿大医師 第4週 当番医師 第5週 当番医師
		午後	水島 崇 水島 由佳	水島 崇 藤原 悠子 水島 由佳	水島 崇 藤原 悠子 土居 範仁(隔週)	藤原 悠子 (第1週除く)	鹿大医師	—
内視鏡センター	—	午前	時任 大吾 田代 光太郎 徳元 攻 小牧 路子	生駒 今日子 田代 光太郎 塗木 冬実 奈良 博文	生駒 今日子 田代 光太郎 三重 浩子 三重 浩子 塗木 冬実	田代 光太郎 徳元 攻 三重 浩子 弘文	田代 光太郎 徳元 攻 上田 博一郎	小牧 路子(第1・3週) 山元 隆文(第2・4週) 生駒 今日子(第5週)
健康管理センター	—	午前	田口 裕一郎 内田 久美子 西本 千恵美 竹内 いずみ 常盤 二起子(第1・3・5週) 木佐貫 彰(第2・4週)	常盤 二起子 内田 久美子 久保田 敬子 大久保 智佐嘉 進藤 朗子	常盤 二起子 久保田 敬子 田口 裕一郎 西本 千恵美 竹内 いずみ	常盤 二起子 内田 久美子 西本 千恵美 大久保 智佐嘉 緒方 三千恵	常盤 二起子 内田 久美子 久保田 敬子 田口 裕一郎 竹内 いずみ(第1・3週) 塗木 冬実(第2・4週)	松口 徹也

☆再診は予約制となります。学会等により休診になる場合もあります。また、この診療プログラムは予告無く変更になる場合がありますので、予めご了承願います。眼科の月・火・水は手術のため、担当医が変更になる場合がありますので、予めご了承願います。

